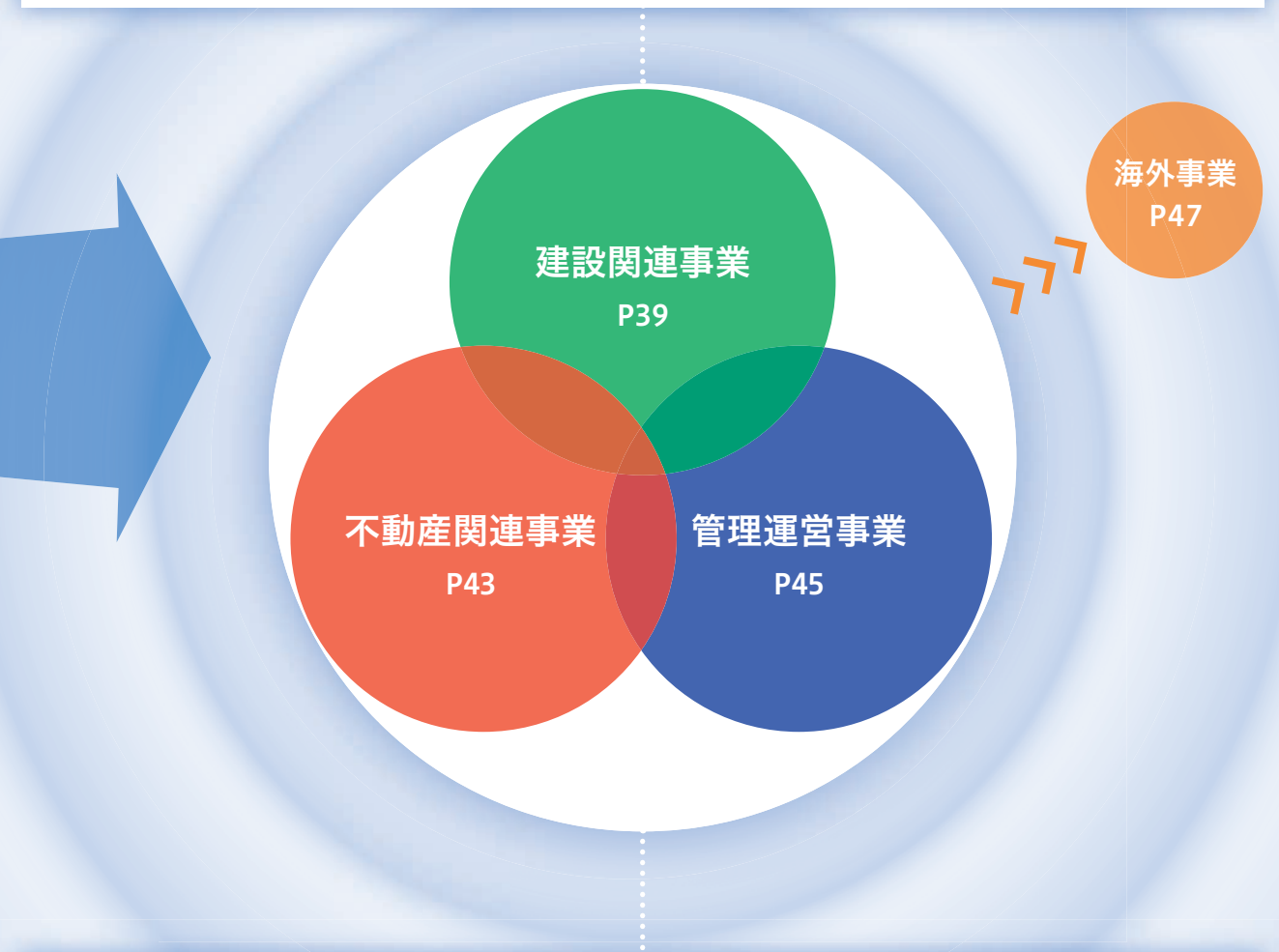
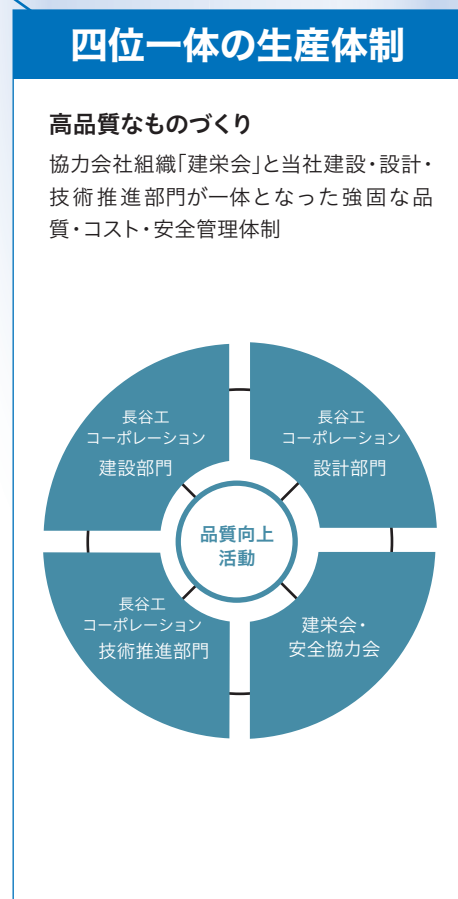
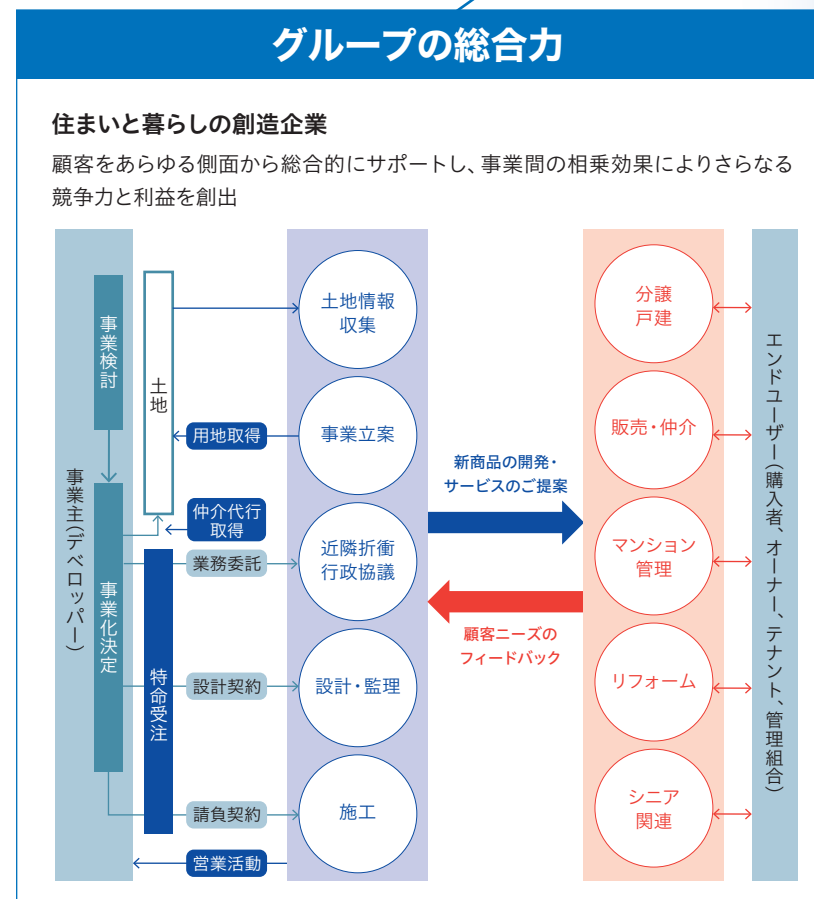
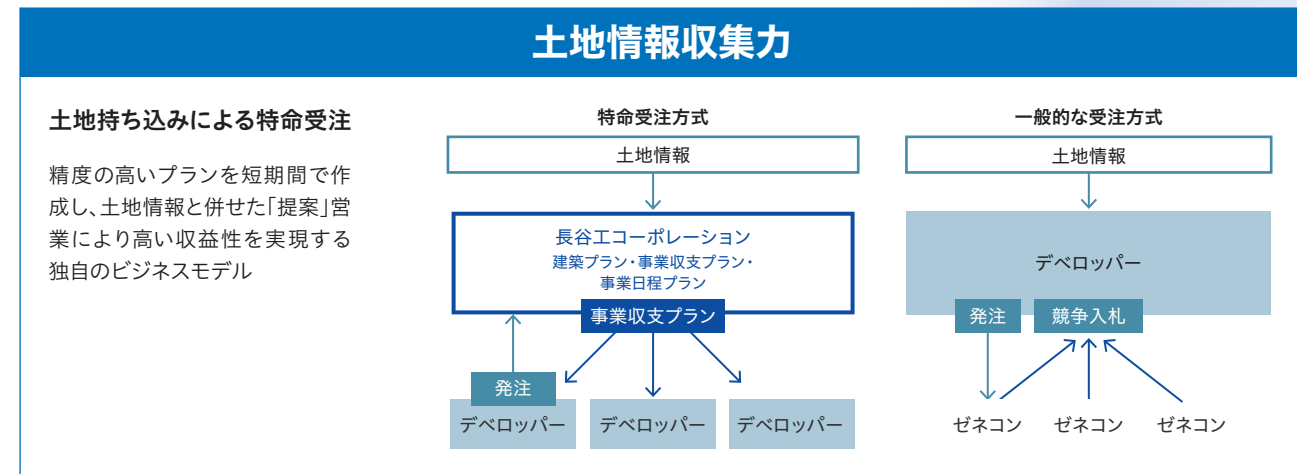


強み

圧倒的な土地情報収集力と、分譲マンションを中心に川上から川下までを担う一貫体制により、高い競争力を確保しています。四位一体の生産体制とグループの総合力を活かし、高品質なものづくりに加え、周辺領域への展開も着実に広がっています。



勝ち筋(ビジネスモデル)

当社はあらゆる世代の多様なニーズにお応えし、高い付加価値を提供し続けるための強固なバリューチェーンを築いており、人口減少し、成熟期に入っている日本においても持続的な成長と進化を目指しています。



人の一生に寄り添う

多様な収益機会の創出

多くのお客様にとって、当社との最初の接点は新築マンションのご購入です。当社との関係はそこから始まり、日々の建物管理やインテリアリフォーム、大規模修繕といった暮らしのあらゆる場面において、お客様に寄り添い続けています。さらに、お住み替えやシニア施設へのご入居といったライフステージの変化に即した様々なサービスの展開、賃貸マンションや戸建といった多様な住まいの選択肢をご用意し、幅広いニーズにお応えしています。

3世代にわたり

信頼をつないでいく

子ども時代を長谷工のマンションで過ごした方が、成人後にご自身の家庭を築く際、再び長谷工のマンションを選ばれるケースが増えています。また、お住み替え、築年数を重ねた建物の建て替え・再開発を経て住まう人々が世代を超えて入れ替わる中でも、私たちは常にその暮らしに寄り添い続けてきました。安心・安全・快適な住まいと暮らしを通して当社への信頼が生まれ、それが親世代から子、そして孫世代へと3世代にわたり連綿と引き継がれていく未来を描いています。

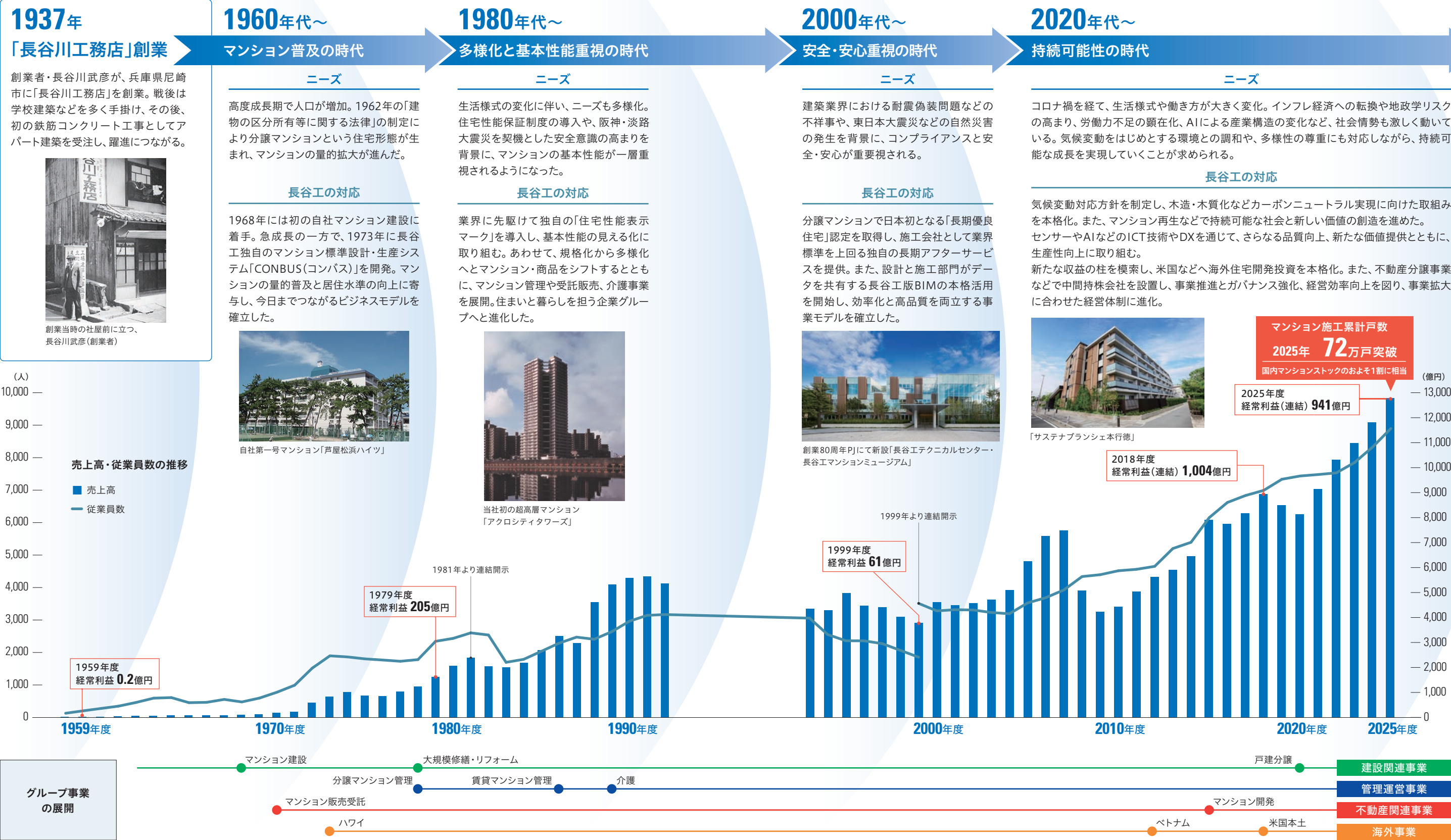
選ばれ続ける存在へ

高い付加価値の提供、企業価値の向上へ

当社は累計約72万戸のマンション施工実績、64万戸の管理戸数(分譲・賃貸・社宅管理代行)、そして12万戸超に展開する「長谷工プレミアムアフターサービス」など、圧倒的な実績を誇ります。それらに裏打ちされた建物や設備の経年変化に関する豊富なデータ、実際に住まれたお客様の声を長年にわたり蓄積し、グループ全体で快適性・施工精度の向上、サービス改善に取り組むPDCAサイクルを徹底することで強固なバリューチェーンを確立しています。建物を「つくって終わり」ではなく、より高い付加価値を提供し続けることで、選ばれ続ける存在となり、持続的な成長と進化を目指していきます。

価値創造の歴史

長谷工グループの歴史は、自社第一号マンション建設への着手以来、常に社会環境の変化の一步先を見据え、日本の都市における住宅基盤を構築してきた歩みです。今後も、時代ごとの社会課題や生活スタイルの変化を機会と捉え、住まいと暮らし全体を一貫して担うビジネスモデルをさらに進化させていきます。



積み上げた資本と実績

当社では、6つの資本の拡充、効率性の両面を追求していくことで、コアコンピタンスをさらに強化し、建設関連事業、不動産関連事業、管理運営事業の3つの輪が重なりあった先に新たな事業や収益源の確保、持続的成長、企業価値向上を目指していきます。

事業を通じた
社会課題の解決

ありたい姿

環境に配慮した、安全で安心な「住まい」と
豊かで快適な「暮らし」を国内外に提供し続ける。

持続的な
成長と進化

人的資本

強み

育休取得率や女性管理職比率の向上など、多様な人材が力を発揮できる環境づくりが進んでいます。専門人材の蓄積も進み、組織基盤は着実に厚みを増しています。

実績

従業員数	8,875人
資格取得者数	6,786人
一級建築士	832人
1級建築施工管理技士	1,417人
宅地建物取引士	3,473人
管理業務主任者	1,064人
PET検診受診率	81.5%
受診2,144人／対象2,630人	
対象年齢 45歳及び50～64歳	
全額会社負担で実施	

多様性

新卒採用における女性比率	33.0%
女性管理職比率	11.5%
外国人人材活用の推進	
育児休業取得率(男性)	76.8%

ホワイト500認定取得

くるみん認定取得

教育プラン

(ビジネスカレッジ／自己学習支援、DXアカデミー、イノベティブ人材育成、グローバル人材教育)

※各数値は2025年度、2026年3月末時点のものです(PET検診受診率のみ2024年度)。

人的資本充実のポイント

これまで拡充してきた専門人材と、働きやすい環境を土台に、多様な人材の活躍の場を広げ、各事業の現場力や変化への対応力をより高めています。

ものづくり資本

強み

国内主要拠点やグループ会社の拡充に加え、研究・技術・製造機能の整備が進み、設計から施工、供給までを支える基盤が着実に広がっています。

実績

国内主要拠点	48カ所
グループ会社数	101社
長谷工テクニカルセンター(東京都多摩市)	
長谷工マンションミュージアム(東京都多摩市)	
プレゼンテーションスペースLIPS(東京都江東区及び大阪市中央区)	
長谷工デジタルテクノロジーラボ(東京都江東区)	
HASEKO MIRAI BASEMENT(大阪市中央区)	
プレキャストコンクリート工場(茨城県かすみがうら市)	
竹チップ製造工場(予定)(千葉県成田市)	
木材製造工場(岐阜県美濃加茂市)	
木材集成材製造・プレカット工場(岐阜県養老郡)	
パネル・木製サッシ製造工場(岐阜県養老郡)	
HSウッド・下地材製造工場(予定)(奈良県五條市)	

ものづくり資本充実のポイント

研究開発拠点や製造拠点の機能強化を進めるとともに、各拠点の強みを活かした連携を深め、安定供給と品質向上を支える体制の充実を図っていきます。

社会関係資本

強み

協力会社との強固な連携基盤に加え、アフターサービスや会員基盤を通じて顧客との接点を着実に広げており、住まいに関わる継続的な信頼関係が厚みを増しています。

実績

協力会社組織「建栄会」	約300社
住まいと暮らしに関する快適性・施工精度向上のためのグループ全体でのPDCAサイクル	
長谷工プレミアムアフターサービス※	12.2万戸
アウル24センター 警報受信(対応)件数	50,382件
ブランシエラクラブ会員数	約49.5万人
災害に強いマンション	

防災3点セット	
スマート・ウォーター・タンクの採用	
マンション再生による新しい価値創造(建て替え、再開発、大規模修繕)	

※長谷工プレミアムアフターサービスの累計採用数は今回から算出基準を見直しています。

社会関係資本充実のポイント

これまで築いてきた協力会社ネットワークと顧客接点を土台に、アフターサービスや会員基盤の活用を深めることで、見守りや防災など暮らしを支える機能の充実につなげていきます。

知的資本

強み

技術開発の積み重ねにより、特許や意匠などの知的財産の蓄積が進み、設計・施工やサービスに活かされる技術基盤が着実に強化されています。

実績

研究開発投資	39億円
保有知財件数	345件
特許	248件
意匠	94件
実用新案	3件
長谷工プレミアムアフターサービス	

知的資本充実のポイント

これまで蓄積してきた知的財産を土台に、技術開発と現場での活用の連動を高め、設計・施工からサービスまで一貫した価値提供の質を高めています。

自然資本

強み

木造化の推進をはじめ、設計・施工の各段階で環境負荷低減を意識した取組みが定着し、環境に配慮したものづくりが進められています。

実績

木造建築件数	331棟
(うち、戸建以外17棟)	
ABINC認証取得件数	9件
ZEHマンション	71件
ZEH戸建	69棟

自然資本充実のポイント

これまで進めてきた木造化や環境配慮技術を土台に、各事業での活用を広げながら、設計・施工段階から環境負荷低減を意識した取組みを重ねています。

財務資本

強み

利益成長とともに自己資本の積み上がりが進み、収益力の回復と資本効率の向上が見られるなど、財務基盤の安定性と成長性が着実に高まっています。

実績

総資産	14,177億円
経常利益	941億円
自己資本	5,627億円
親会社株主に帰属する当期純利益	548億円
有利子負債	4,250億円
ROE	10%
配当性向	46.4%

財務資本充実のポイント

収益力の向上を背景に、成長投資と財務の健全性のバランスを意識した資本配分を進め、資本効率のさらなる向上につなげていきます。

